

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。
要旨は1～2問とし掲載しました。
会議録は2月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。
また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。
なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。
※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



▲福生市議会HP
(通告一覧へ
リンクします)



▲議員BOOK
(各議員の過去
の一般質問や
会議録をご覧
いただけます)

福生駅西口地区市街地再開発事業の進捗について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 現在、準備組合が施行しているが、組合設立認可申請に向けた手続きの進捗はどうなっているか。また、総事業費や市負担額について伺う。

市長 組合設立認可申請に向けた手続きは、準備組合から市へ資金計画等を基にした事業計画書の提出が必要だが、現時点ではまだ提出されていない。総事業費は資材高騰等の

影響で350億円を超えると聞いており、市の負担額は現在協議中だが、現計画では事業費増に伴う負担やランニングコストが大きくなるため、未来に大きな財政負担を残さないようにする必要がある。公共公益施設は、当初予定していた機能の一部が国土交通省の補助金の対象外となったため、私自身も防衛省へ補助金獲得のため働きかけ、活用のめどがつ

いたことから、事務手続きに向け協議を進めている。活用には事業の一部を市の直轄へ変更する必要があるため、準備組合に対し承諾いただくよう協議しており、併せて負担軽減のため施設の機能や規模について今後改めて見直しを検討する。これらの再検討には2年程度要するなど様々な課題はあるが、これを乗り越えやり遂げたいと考えている。



健康づくりについて



正和会
小林 貢 議員



質問 市民の健康づくりについて、今後どのようにアプローチを行うのか伺う。

市長 生活習慣病予防では、健康相談や健康教室に一層注力する。特定健康診査と特定保健指導では、実施率・受診率の向上に努める。がんへの対応では、予防に向けての情報提供や検診の受診勧奨を行う。健康づくりでは、ふくふく福生体操や健

康ウォーキングなどの事業を推進する。引き続き市民のニーズを踏まえた取り組みで健康増進を図っていく。
不登校特例校分教室(福生第一中学校7組)について

質問 不登校特例校分教室のこれまでの取り組みの成果と課題、今後の展望を伺う。

教育長 令和2年4月の開設以来、生徒一人一人へきめ細かな指導、支

援を実施。特徴として音楽や技術・家庭科など実技教科を多く設定し、各教科を横断的に扱う福生版プロジェクト学習では、探求力や自己調整力を育成してきた。課題は、さくら会館内に所在することによる学習環境への影響、正規教員の増員、登校したくなる施設・設備の充実など。今後は、分校化を目指し福生第三小学校新校舎への移設を検討している。



▲健康相談の様子

福生市の指定管理者制度について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 本市では指定管理者制度の導入から20年弱が経過したが、その成果と課題について伺う。

市長 現在、19の施設で指定管理者制度による管理、運営を実施。人件費削減や職員の効率的配置が実現し、民間の専門的知識やスケールメリットを生かした運営により市民サービスの向上につながっている。一方で一部業態では自主事業に制約

があり、利用料収入を伸ばせない施設があるほか、期間満了に伴う新たな管理者の公募に1事業者のみ申請という事例もあり、解消に努めたい。
福生市立小・中学校におけるGIGAスクール構想について

質問 本市小・中学校におけるGIGAスクール構想の取り組み状況と今後の計画について伺う。

教育長 一人一台のiPadによ

り、児童・生徒がいつでも、どこでも学べる環境を整備。令和6年度の調査では、授業でのICT機器の使用頻度を「ほぼ毎日」と回答した児童・生徒の割合が国や都の平均を上回った一方で、家庭での使用方法や教員の指導力向上などの課題がある。今後、令和7年12月にiPadのリース期間が満了するため、円滑な更新を目指す。



災害対策について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 災害等、緊急時の飲料水の確保のため給水車が必要と考えるが、本市での対応を伺う。

市長 東京都水道局は30台の給水車を所有している。多摩地域は4台配備されており、災害時には多摩地域や区部を問わず出動する。また、市内2か所の災害時給水ステーションのほか、17か所の避難所に応急給水用資器材が配備されており、断水

時でも給水は可能と考える。
福生市立図書館基本計画について

質問 福生市立図書館基本計画の計画期間が令和5年度から1年間延伸された。次期計画の策定の進捗状況やその特徴について伺う。

教育長 福生市立図書館基本計画は、改定する上位計画との整合や、中央図書館のリニューアルに伴う新たなサービス等の位置づけを図るた

め、計画期間を1年延伸した。改定では、基本理念を継承し、誰もが使いやすい図書館サービスの推進を図り、また利用者調査等で把握したニーズを計画策定に生かし、市民に分かりやすい計画であることを基本として、4点の目標の下、13の基本的な方針、23の施策を設定した。名称を福生市図書館ビジョンに改め、令和7年3月の策定を予定している。



▲明神下公園内にある応急給水施設